

今回は、7月10～11日に行われた「SSH 合同巡検」についてお伝えします。

[三内丸山遺跡]

<概要>

7月10日、私たちは青森県にある三内丸山遺跡を見学しました。

元々は青森県営球場になる予定でしたが、発掘調査の際に大規模な集落跡が見つかり、遺跡の保存が決定されたようです。この遺跡は、縄文時代前期中頃から中期末葉のもので、2000年に国の特別史跡に指定されました。遺跡跡には住居群、倉庫群のほか、シンボリックな3層の掘立柱建物が再現されており、資料館もあります。また、出土遺物は段ボールで数万箱に及んだといわれています。教科書の中でしか見たことのないような集落跡を実際に見てみんなとても驚いていました。



<生徒の様子>

最初、遺跡に着いたときにはみんな興味がなさそうでしたが、実際に見ると興味の無かった人もその遺跡の独特な雰囲気と自然と心が躍っていました。建物には何か不思議なパワーを感じられました。当日は気温が高かったですが、その暑さに負けないくらい熱心にガイドさんのお話を聞いていました。途中で集中豪雨にあいましたが、三内丸山遺跡の見学を有意義かつ楽しいものにしたようです。



<生徒の感想>



・教科書等でしか見たことがなかった三内丸山遺跡を実際に見学し、当時の人々はどのような場所で生活していたのか、どのような暮らしをしていたのかを視覚的にも知ることができた。

・遺跡の建物を実際に見て、建物の大きさに驚いた。

・栗の木は、三内丸山遺跡の人々にとってとても重要な資源であったことに興味をもった。

[生物実習]

<概要>

合同巡検 2 日目, 7 月 11 日に生物実習が行われました。

1~3 組は浅虫観光ホテル付近, 4~8 組は東北大学院生命科学研究科附属浅虫海岸生物学教育研究センター前を海岸実習場所とし, 各班が事前に計画した研究計画に基づいて活動しました。現地では「合同巡検講演会[海洋生物]」で本校にお越しいただいた武田哲先生にも参加して頂き, 捕まえた生物の判断や実験へのアドバイスをいただきました。班によっては, 予想外の出来事が起こったところもあったようです。

<生徒の様子>

暑い中での実習となりましたが, 集中して実習に取り組んでいました。海にテンションが上がったのか, 赤パン一丁で勢いよく海に飛び込む人や, 肩までずぶぬれになりながら生物を探す人などがいました。普段触れ合うことのない海の生物にみんな興味津々で, それらの感触や, 予期せぬ動きに驚いていました。班によっては, 思うように観察ができなかったり, 良い結果が出せなかったりとハプニングがありましたが, 最後まで熱心に観察をしていました。このように一人一人がそれぞれの役割を果たすべく, 一生懸命に取り組んでいました。



<生徒の感想>

・初めて見る生物がたくさんいて驚いたが, 生物の体のつくりなどを詳しく見ることができ, さらに興味を持つことができた。

・写真や資料などでしか見たことのない生物を, 実際に見たり, 触ったりしたことによって, 生物のことをより深く知ることができた。

[編集後記]

今回の合同巡検では, 自分たちで研究計画を立てたり興味のある内容について調べて, レポートを書いたり初めての体験をしたという人もいないのでしょうか。これからはそれをポスターにまとめてクラスや先輩方の前で発表する機会があります。今回学んできたことを生かし, より良いものを作って行きましょう!